

## 発電機負荷試験 点検事例 1

# 株式会社バリュー・ザ・ホテル 様

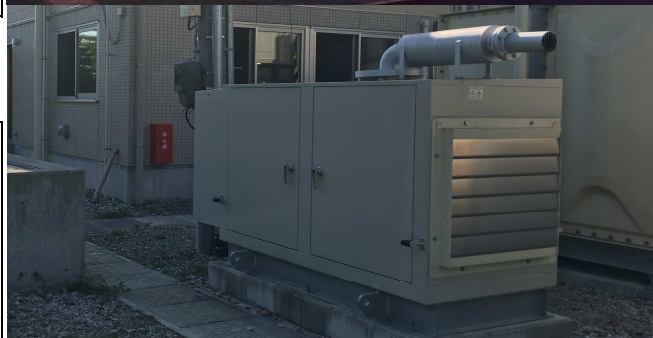
### 【バリュー・ザ・ホテル様 概要】

東日本大震災後、早期復興復旧の為に現地で従事されている関係者の宿泊施設が大幅に不足している事態が今もなお続いている現状の中、適切な価格と品質を持ち、宿泊されるお客様が中長期間安心して快適に過ごせるホテルを作ろうというプロジェクトのもと、バリュー・ザ・ホテルが誕生しました。  
現在宮城県に4店舗、福島県に1店舗の計1,607室にて、早期復興を全面的に支援する事を主に、更にビジネス、観光と幅広い営業を行っているホテルです。  
また、2017年12月には、福島県双葉郡楢葉町に新築107室（予定）の「バリュー・ザ・ホテル楢葉木戸駅前」の開業が決定している。



### 【負荷試験実施に至るまで】

バリュー・ザ・ホテル各店舗様では、定期的に試運転は行っておりましたが、試運転だけで本来の役目を果たしてくれるのかと、ご担当者様が懸念されておりました。  
高額な費用で設置した発電機を長期間健全に保ち、且つ、いつでも能力通りの出力を発揮できる状態にしておくことが重要とのお考えのもと負荷試験を行いました。



### 【お客様の声】

当ホテルをご利用くださっている大切なお客様へ対し、快適なホテルライフはもちろんのこと、目に見えない部分の安心・安全も併せてご提供することが最も重要。

当ホテルをご利用いただいているお客様及び従業員の安全を最優先に考えたとき、災害が発生した際に防災機器がきちんと動かなければ何の意味も無い。

電気事業法や消防法はもちろん重要ですが、法令だからというのでは無く、いつでも正常稼働できるようにしておくこそが、我々の務めです。

お客様からは見えない部分でのサービスと捉え、今後とも安心・安全に心掛け、お客様へ快適な空間を提供してまいります。



### 【まとめ】

今回ご紹介しました宿泊施設は、お客様の安全・安心をしっかりと考えて下さっている宿泊施設で、且つ、コンプライアンスを遵守されているお手本となる宿泊施設で、法で決まっているから点検をする、何も言われなければならない、というお考えではなく、いざという時のことを真剣に考えれば、点検することは必然という宿泊施設でした。

弊社が啓蒙活動を行う上で考えかたが一致した施設様でもありました。震災を経験した者として日々の点検の重要性を全国へ向けて発信し続けることを使命として、これからも取り組んでいきます。